花水木だより

第 100 号 令和 5 年 5 月
千 種 区 鯱 城 会 会 報
発行／花 水 木 鯱 城 会

100 号記念特集

＜　花水木鯱城会の輪を拡げよう　＞

お知らこちらから⇒

目　次

表　紙　‥‥‥‥‥　1

目　次　‥‥‥‥‥‥　2

巻頭言　“今日より明日は明るい”　会長　小松憲次　‥‥‥‥　3

新年度総会報告　‥‥　4

懇親会報告　‥‥　5

令和５年度　役員・運営委員紹介　……　6

令和４年度活動実績　……　7

令和５年度活動計画　‥‥　8

令和４年度決算書・会計監査報告・令和５年度予算書　……　9

10 年継続会員のお言葉　‥‥　10～12

花水木だより 100 号への歴史　‥‥　13～16

ボランティア活動状況：

マラソンフェスティバル/むかし遊び/じどうかんまつり/

ご近所クリーンキャンペーン/　‥17～19

編集後記　‥‥　19

今後の行事予定・次号予告　‥‥20

表紙の言葉　　「青空に舞い上がる鯉のぼり」

山本　一（23 期　生活 A）

桜満開の３月下旬、岐阜県の垂井町を訪れて、相川水辺公園一帯での鯉のぼり一斉遊泳（2023 年３月 18 日～5 月 7 日）を見ました。色とりどりの約 350 匹（町内外から寄付されたものなど）が泳ぐ姿は圧巻で、桜と鯉のぼりの共演は見事でした。山の彼方伊吹山の残雪がかすかに残っていました。青空に舞いあがる鯉のぼりが、爽快感を与えていました。

巻 頭 言

“今日より明日は明るい”

花水木鯱城会
会長　小松　憲次（32 期　美術）

花水木だよりは、お蔭様で記念すべき第 100 号を発行することが出来ました。会員各位のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。また、本年度は新たに 34 期生の新会員 8 名を迎えることが出来ました。しかしコロナ禍の三年間、花水木鯱城会は世代交代が出来ていません。本年度は全役員が留任して、この難局を乗り越えて参ります。

さて、物価高と少子高齢化に影響されてなのか、何となく世の中の閉塞感を覚えます。人々が「今日より明日が明るい」と思わなくなっているからではないでしょうか。コロナ・物価高・スマホ・ネット・個人消費・非正規雇用者・大企業内部留保・円安・値上げETS、少なくとも私達の経験を超えた難解な壁が存在します。

一方、2023WBC 準準決勝では、TV 平均視聴率が 48％と WBC 中継で過去最高を記録し、米国での決勝戦では多くの国民が侍ジャパンと大谷翔平選手の活躍にワクワク＆ドキドキの感動を経験しました。また野球シーズン開始と共に、地下鉄ナゴヤドーム前矢田駅から球場までのドラゴンズロードでは「弱いドラゴンズは終わりにしましょう」と選手会長の柳裕也投手が、顔写真のパネルに書いています。まさに「今日より明るい明日」が来そうです。

マスク規制も緩和され、会員の皆様の明るい明日を実感頂くような活動を推進して参ります。先ずは、健康管理の上、家に籠ることなく、各行事に参加、そしてお出かけください。意識向上の喜び、そして仲間との絆や、感動を味わって頂くことが出来ると信じています。

本年度も、会員の皆様には、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、花水木鯱城会の益々の発展と会員及びご家族ご健勝を祈念申し上げます。

令和５年度総会・懇親会報告

総務委員長　高橋　満里（30 期　環境）

令和５年度の「花水木鯱城会総会」が **4 月 12 日に木曽路瓦町店で開催**されました。この木曽路での総会は初めてです。これまでは池下の「ルブラ王山」でした。利用料の高騰等で、安く抑えられる木曽路に変更しました。今年の参加者は 62 名でしたので狭い木曽路でも出来ました。９時過ぎには役員、運営委員が到着し準備に入りました。総会開始は 10 時半です。受付け準備、会場準備とテキパキと進め会員の到着を待ちます。いえいえ本当は、ちょっとパニックです。片や、木曽路の担当者や客室係の方は素早い動きで会場のセッティングを次々とこなしていました。ここをこうしてほしいとか、頼んでおいたあれはどう成りましたかとか、こちらは確かめたい事が色々あったので彼らを追っかけてばかりでした。**新調した「花水木鯱城会　総会」の垂れ幕**を見上げると胸が高鳴ります。10 時には今池からの送迎バスが木曽路について、急に会場は笑い声に包まれました。総会が始まる時間が近づいています。

高橋司会

【総会の部】　高橋司会の「定刻になりましたので・・・」のアナウンスで会場はシーンとなり、総会は物故者への黙祷、小松会長の挨拶と千種区社会福祉協議会水野事務局長の祝辞から始まりました。議長に選出された小松会長の司会で、「令和４年度活動事業報告」、「会計報告」、「会計監査」と議事は続きました。引き続いて「令和５年度事業計画案」、「予算案」、「令和５年度役員の承認」へと慎重に説明が行われました。全ての議案は無事承認されましたが、詳細は本号の掲載記事でご確認ください。最後に、10 年継続会員（26 期、10 名）の内で参加された 4 名（写真参照）に対して記念品が贈呈されました。これで、やっと安心して懇親会に臨める事になりました。会長・役員・運営委員の皆様ご協力有り難うございました。

水野事務局長

そして今年も総会に顔を見せて下さった会員の皆様、お会い出来て大変うれしく思いました。「10 年継続会員」の皆様、これからも「花水木鯱城会」を宜しくお願い致します。「総会」ですが、ここでもお友達の輪、笑顔の輪がずいぶん広がった気がしました。

総会会場

小松会長による新体制紹介

10 年継続会員

【懇親会の部】　午後 0 時開催の懇親会の司会は杉浦さんが担当し、最初に樫澤副会長より新入会員への歓迎の挨拶が有りました。乾杯のご発声は「10 年継続会員」の山田秋男さんにお願いしました。料理は美味しく、ビールも結構用意したので楽しい時間になったかと思います。新入会員の森川さん、塚本さんの自己紹介も素敵でした。

杉浦司会　　　樫澤副会長

さて、ここからはお楽しみの時間で、7 地域会が持ち時間 5 分で歌を披露して下さいました。演目は下記の写真の順序で、千種台は「高原列車は行く」、今池は「故郷」、東星は「今日の日はさようなら」、振甫は「白い花の咲く頃」、若水は「ああ人生に涙あり」、城山は「上を向いて歩こう」、千種は「いつでも夢を」でした。それぞれの歌には思い出や時代背景があり、心に染み入ります。ハーモニカやウクレレ、オカリナやギター等の楽器も色々登場しました。手話を披露して下さった地域もありました。衣装に工夫をこらしているチームもあって、5 分にかけた情熱が伝わってきました。ビンゴゲーム（最後の写真）はいかがでしたか。景品は奮発しましたよ。役員・運営委員・地域長の皆様ご協力有り難うございました。そして、今年も懇親会に参加して下さった会員の皆様、元気なお顔が見られて大変感激しました。「10 年継続会員」の皆様、これからも「花水木鯱城会」を支えて下さいます様、お願い致します。最後は、大澤副会長が楽しくお話をしながら閉会の挨拶をされました。令和 5 年度は明るく元気な年になりそうな予感がしました。

令和5年度（2023）　役員・運営委員

令和5年4月1日

（順不同・敬称略）

	No	氏名	担当	期	学科	クラブ	学区
役員	1	小松　憲次	会長 地域委員長	32	美　術	囲　碁	城　山
	2	樫澤　一也	副会長 社会奉仕委員長	31	生活B	歩いて知ろう会	城　山
	3	大澤　之夫	副会長 広報委員長	32	陶　芸	マジック	若　水
	4	南　　清貴	行事委員長	31	園　芸	ハイキング	振　甫
	5	高橋　満里	総務委員長	30	環　境	郷土史	千種台
	6	飯田　蓮子	会計委員長	30	陶　芸	万葉散歩	千種台
	7	寺澤　正春	総務・鯱城担当	31	文化B	国際文化研究	若　水
運営委員	8	古田　　昇	副総務委員長(IT・HP)	31	地域B	なごやか絵手紙	振　甫
	9	中山貴代美	総務委員	32	環境	フォークソング	東　星
	10	杉浦　秋子	総務委員	32	福祉	パソコン	振　甫
	11	青野　一夫	総務委員	34	地 域 A	郷土史	振　甫
	12	白川すみ子	総務委員	34	地 域 A	水彩画	今　池
	13	二宮　孝江	副社会奉仕委員長	32	生活A	健　康	城　山
	14	脇所　　耐	社会奉仕委員(コーヒー)	29	生活B	なごやか絵手紙	振　甫
	15	片山　麗子	社会奉仕委員	33	国際A	国際文化研究	振　甫
	16	波多野美津子	社会奉仕委員	33	国際A	水彩画	振　甫
	17	加藤　明美	社会奉仕委員	34	地 域 A	重要文化研究	振　甫
	18	塚本　利夫	社会奉仕委員	34	国 際 A	英会話	振　甫
	19	坂野　幸子	副行事委員長	32	地域B	社会研究	今　池
	20	栂澤　征子	行事委員	33	健康A	パソコン	今　池
	21	水谷　武子	行事委員	32	福　祉	将　棋	千　種
	22	尾崎　修子	行事委員	34	国 際 B	将　棋	東　星
	23	森川　民雄	行事委員	34	地 域 B	旅　行	城　山
	24	桑原　　守	副広報委員長	32	地域A	写　真	今　池
	25	葉山　　彰	広報委員	34	園　芸	陶　芸	東　星
	26	山口三佐子	副会計委員長	33	生活A	健　康	若　水
	27	梶川　紀子	会計委員	34	音 楽 A	マジック	若　水
監査役	1	二宮　敏夫	会計監査	30	福　祉	健　康	若　水
	2	木村　達哉	会計監査	31	地域A	天文気象	城　山
鯱城会	1	二宮　敏夫	社会奉仕サポーター	30	福　祉	健　康	若　水
	2	筒井　孝志	ＨＰサポーター	30	地域A	郷土史	千　種

令和4年度（2022） 事業活動実績

令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

担当	行事名	開催日	内容	参加者
総務委員会	運営委員会	原則として毎月第一火曜日	運営委員会12回開催（富士見台会館11回・高見コミセン1回）	256
	役員会	原則として毎月第四火曜日	役員会12回開催（富士見台会館8回 ・社協4回）	75
	総会・歓迎懇親会	令和4年4月13日	総会・32期33期生歓迎懇親会（ルブラ王山）	84
	地域ミーティング	令和4年6月16・17日	地域活動実践体験（34期生対象）　社協	42
		令和4年11月16日	地域ボランティア活動の意見交換（37期生対象）学園	35
	同好会代表者懇談会	令和4年8月23日	同好会代表者と役員会との意見交換（社協）	25
	忘年会	令和4年12月6日	運営委員会忘年会　（太閤本店）	21
	新年懇親会	令和5年1月6日	令和4年 新年懇親会（木曽路瓦町店）	56
	34期生区会説明会	令和5年1月20日	34期生区会入会説明会（学園）	20
	打ち上げランチ会	令和5年3月7日	運営委員会打ち上げ	17
	34期生Cサロン招待会	令和5年3月16日	34期生入会後活動説明会＆Cサロン招待会（社協）	10
	34期生入会後説明会	令和5年3月30日	34期生区会入会後説明会（社協）	15
地域委員会	地域長会議	令和4年6月28日	地域長・幹事と花水木鯱城会役員との意見交換会　社協	24
		令和5年1月24日	地域長・幹事と花水木鯱城会役員との意見交換会　社協	24
広報委員会	花水木だより編集	令和4年4月28日発行	96号　20頁 カラー　新役員・10年継続会員紹介　発行部数	300
		令和4年7月29日発行	97号　20頁 カラー　地域長会議・新運営委員紹介　発行部数	300
		令和4年10月28日発行	98号　20頁 カラー　同好会特集　発行部数	300
		令和5年1月30日発行	99号　20頁 カラー　新年懇親会・作品展特集　発行部数	300
社会奉仕委員会	ディサービス支援	毎週　月 ～ 金	高齢者介護支援（千種区在宅介護サービスセンター）	467
	ディサービス支援その他	随時	高齢者介護支援へ（慰問活動など）の支援	137
	コーヒーサロン	２回/月	コーヒーサービス（千種区社会福祉協議会）	235
	愛護会活動	毎月第一日曜日	茶屋ヶ坂第３公園清掃（実行：各地域会）	104
		毎月第三日曜日	鹿子公園清掃　（実行：各地域会）	92
	社協花壇整備	年数回　随時	千種区社会福祉協議会の花壇整備	5
	ご近所クリーンキャンペーン	令和5年2月7日	富士見台会館周辺の清掃	18
	児童館支援	4回/令和4年度	七夕かざり・北村先生の工作など（千種児童館）	48
	クリーンキャンペーン	令和4年6月4日	全市一斉ｸﾘｿｷｬﾝﾍﾟｰﾝ（春岡公園周辺の清掃）	32
	千種区民まつり支援	令和4年10月2日	平和公園	0
	子育てサロン支援	令和4年12月1日～12月24日	「きらきらサンタ」サンタクロース派遣活動（13拠点）	20
	ボッチャボランティア	年数回　随時	千種社協主催のCHIKUSAボッチャ広めたいへの参加	49
	珈琲ボランティア	１回/月 程度	千種社協主催のコーヒーボランティアあじさいへの参加	35
	鯱城会活動参加	令和4年10月1日	鶴舞公園清掃	15
		令和4年11月5日	鯱城・堀川クリーンキャンペーン参加	12
	こころの絆創膏	令和4年9月・令和5年3月	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	中止
	名古屋ウィメンズマラソン	令和5年3月12日	ウィメンズマラソンコースボラ（復路40㎞救護所付近担当）	30
行事委員会	バスツアー	令和4年5月中旬	バスツアー	中止
	地域交歓ボウリング大会	令和4年7月10日	花水木地域会交歓ボーリング大会（本山ボウル）	31
	グラウンドゴルフ	令和4年10月26日	第20回鯱城会グラウンドゴルフ交歓会　庄内緑地公園	16
	趣味の作品展　Ⅰ	令和4年10月12日 ～ 令和4年10月16日	第19回趣味の作品展　66作品（特別参加 ２含む） 愛知芸術文化ホール　12Ｆアートスペース H	362
	趣味の作品展　Ⅱ	令和4年11月14日	趣味の作品展を千種社協廊下にて開設（一ヶ月間）	33
	16区フェスティバル	令和4年11月17日	第5回16区フェスティバル　千種スポーツセンター	35
	新春講演会	令和5年1月11日	新年講演会（社協　研修室）	中止

令和５年度（2023）　事業活動計画

令和5年4月1日

月	日(曜日)	行事名	場所	出席者	担当
4	4日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	12日（水）	総会・新入会員歓迎懇親会	木曽路瓦町店	会員希望者	総務
	25日（火）	役員会	富士見台会館	役員	総務
	28日（金）	花水木だより100号　封入・地域会配布日 ①	千種区社協	運営委員・関係者	広報
5	2日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	23日（火）	役員会	富士見台会館	役員	総務
6	3日（土）	全市一斉クリーンキャンペーン	学区未定	会員希望者	社会奉仕
	6日（火）	運営委員会・運営委員歓迎親睦会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	15日（木）	第2回地域ミーティング（2年生37期生）一日目	千種区社協	役員・運営委員	総務
	16日（金）	第2回地域ミーティング（2年生37期生）二日目	千種区社協	役員・運営委員	総務
	17日（土）	鶴舞公園クリーンキャンペーン（予備日24日）	鶴舞公園	会員希望者	社会奉仕
	27日（火）	役員会　　　13時～	千種区社協	役員	総務
	27日（火）	地域長会議　　15時～	千種区社協	役員・地域長・幹事	地域委員長
7	4日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	10日（月）	花水木地域会交歓ボウリング大会	星ヶ丘ボウル	会員希望者	行事・地域
	25日（火）	役員会	富士見台会館	役員	総務
	28日（金）	花水木だより101号　封入・地域会配布日 ②	千種区社協	運営委員・関係者	広報・総務
8	1日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	22日（火）	役員会　　　　　　13時～	千種区社協	役員	総務
	22日（火）	同好会代表者懇談会　15時～	千種区社協	役員・同好会代表者	総務
9	5日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	26日（火）	役員会	富士見台会館	役員	総務
	29日（金）	作品展・16区チラシ　封入・地域会配布日 ③	千種区社協	運営委員・関係者	行事
10	3日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	1(水)～15(日)	趣味の作品展　（搬入10日）	芸文12Fスペース H	会員希望者	行事
	18日（水）	第22回グラウンド・ゴルフ交歓会	庄内緑地公園	会員希望者	各区・鯱城会
	中旬	公開講演会	鯱城5階ホール	会員希望者	学園・鯱城会
	24日（火）	役員会	富士見台会館	役員	総務
	27日（金）	花水木だより102号　封入・地域会配布日 ④	千種区社協	運営委員・関係者	広報
11	7日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	15日（水）	第1回地域ミーティング（1年生38期生）PM	鯱城学園	役員・運営委員	総務
	16日（木）	第6回16区フェスティバル	東スポーツセンター	会員希望者	各区・鯱城会
	18日（土）	堀川清掃大作戦（予備日25日）	伏見堀川沿い	会員希望者	社会奉仕
	28日（火）	役員会	富士見台会館	役員	総務
	29日（水）	第3回地域ミーティング（2年生37期生）AM	鯱城学園	役員・運営委員	総務
12	5日（火）	運営委員会・運営委員忘年会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	26日（火）	役員会	富士見台会館	役員	総務
令和6年 2024年 1	5日（金）	新年懇親会	木曽路瓦町店	会員希望者	総務
	9日（火）	運営委員会	高見コミセン	役員・運営委員	総務
	10日（水）	新春講演会	千種区社協	会員希望者	行事
	23日（火）	役員会　　　13時～	千種区社協	役員	総務
	23日（火）	地域長会議　　15時～	千種区社協	役員・地域長・幹事	地域委員長
	26日（金）	区会入会説明会（37期生）	鯱城学園	役員・運営委員	総務
	31日（水）	花水木だより103号　封入・地域会配布日 ⑤	千種区社協	運営委員・関係者	広報
2	6日（火）	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	27日（火）	役員会	富士見台会館	役員・新役員	総務
3	5日（火）	運営委員会　運営委員打上	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	7日（木）	第14回OB文化祭	鯱城5階ホール	会員希望者	各区・鯱城会
	10日（日）	名古屋ウイメンズマラソンボランティア	コース沿道	会員希望者	社会奉仕
	15日（金）	区会入会後活動説明会（37期生対象）10時～	千種区社協	役員・運営委員	総務
	26日（火）	役員会　　　　　　13時～	千種区社協	役員・新役員	総務
	26日（火）	新運営委員会説明会（37期生対象）15時～	千種区社協	役員・運営委員	総務
4	9日（火）	総会準備	千種区社協	役員・新役員	総務
	10日（水）	総会・37期歓迎会	木曽路瓦町店	会員希望者	総務

・ 運営委員会：第一火曜日・午前10時～　　役員会：第四火曜日・午前１０時～　※例外の月が有り

・ 鯱城かわら版は花水木だよりに同封　 R4−3号 ①・ R5−1号 ②・ R5−2号 ⑤　年三回（7・12・3月）の発行

※花水木だより・鯱城会かわら版は社協ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾙｰﾑ　9時30分～封入作業開始、各地域会への配布は10時30分

令和４年度（2022） 決算書

（令和4年4月1日　～　令5和年3月31日）　（単位：円）

収入の部				支出の部		
科　目		予算額	決算額	科　目	予算額	決算額
年会費 普通会員	216名	324,000	324,000	総　務　費	162,400	139,141
年会費 家族会員	13名	6,500	6,500	行　事　費	65,000	58,485
年会費 計	229名	330,500	330,500	広　報　費	139,400	123,610
入会金		2,000	2,000	社会奉仕費	47,600	55,388
愛　護　会		72,000	72,000	地　域　費	89,300	71,508
助　成　金		63,000	72,800	鯱　城　会	34,350	34,350
雑　収　入		0	4	雑　　費	4,000	5,280
前年度繰越金		334,192	334,192	予　備　費	209,642	
				40周年記念積立金	50,000	50,000
				翌年度繰越金		273,734
合　　計		801,692	811,496	合　　計	801,692	811,496

上記の通り相違ありません。　令和5年３月３１日　会長　(32期) 小松 憲次　印

会計委員長　(30期) 飯田 蓮子　印

令和4年度(2022) 会計監査報告

花水木鯱城会2022年度(令和4年度)会計収支について、会計帳簿及び関係書類を監査した結果、収入・支出及び決算処理に関して正確かつ適正であることを認めます。

令和5年3月31日　会計監査　(30期) 清水 勝昭　印

会計監査　(30期) 二宮 敏夫　印

令和５年度（2023）予算書

（令和5年4月1日　～　令和6年3月31日）　（単位：円）

収入の部			支出の部		
科　目	予算額	摘　要	科　目	予算額	摘　要
年　会　費	294,000	普通会員　196名	総　務　費	140,000	運営委員会、総会、新年会等
年　会　費	6,000	家族会員　12名	行　事　費	63,000	ボウリング大会、作品展等
年　会　費	300,000	計　208名	広　報　費	135,000	花水木だより発行関連費等
入 会 金	16,000	新入会員2,000円　8名	社会奉仕費	60,000	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ保険、公園清掃費等
愛　護　会	72,000	名古屋市土木局	地　域　費	89,300	地域委員会関連費用
助　成　金	66,000	鯱城学園・町づくり推進室	鯱　城　会	31,200	本部納付金（１名150円）
雑　収　入	0		雑　　費	4,000	振込手数料等
前年度繰越金	273,734		予　備　費	155,234	翌年度繰越
			積　立　金	50,000	40周年記念行事積立金
合　　計	727,734		合　　計	727,734	

10年継続会員（26期生）のお言葉

令和5年度の10年間継続会員は鯱城学園26期卒業の皆様です。長きにわたって花水木鯱城会を支えてくださったこと、誠にありがとうございます。

10年の節目を迎え、入会された当時の思い出、楽しかったこと、印象深いエピソード、現在の生活、お気持ち等々、文章を頂きました。ここに紹介させて頂きます。

また、今号で「花水木だより」が100号を達成できたのも、皆様のお力も大きかったと感謝しています。皆様のお元気な様子、嬉しく思います。

今後も「花水木のリライフ」充分お楽しみください。

山田　秋男　様（陶芸）

入会したのは72歳でした。労務コンサルタントをやめて、もう働くことはないと、これからは好きなことをやろうと思っていた。ところが、ぶらぶらして何一つ行き着くこともなく毎日を持て余していた。そんな時に高年大学を知ることが、これだと決断して入学しました。専攻したのが絵画と陶芸でした。が、それまで描いたこともなく、また陶芸は興味本位であった。それがのめり込んでしまい、今でも唯一の趣味として楽しんでいます。描いた絵も見て悩んだり喜んだりしています。また、土を練り上げて、ロクロでかたどっていくのは、至福の喜びでした。

中村　亨　様（生活A）

2013年3月の学園卒業式と同時に花水木鯱城会に入会し、あっという間の10年でした。思い出すのはボランティア活動に参加できたことです。春岡コミセンでのキラキラサンタさん、ウィメンズマラソン、茶屋ヶ坂公園清掃、そして特に千種区社会福祉協議会でのデイサービス奉仕を印象深く感じております。

大変良い体験をさせていただき感謝しております。ありがとうございました。花水木だより100号刊行を心よりお慶び申し上げます。

北村　和彦　様（環境）

ものづくりボランティア活動について　平成 25 年に入会し、花水木社会奉仕委員として児童館での工作教室を続け、10 年目を迎えました。これまで続けてこられたのは、花水木の皆さんの協力で、児童館に合ったテーマを提案できた事と思っています。

例えば、昨年の「花火」や「くるくるクリスマス」では、完成後の子供達の嬉しそうな顔を見て、多くの時間を費やして準備した事が報われた思いでした。これからも花水木の皆さんと一緒に続けていきたいと思っています。

尾崎　達男　様（文化 A）

鯱城学園を卒業して、あっという間に 10 年過ぎました。そのお陰で、囲碁、英会話、パソコン、ハイキング、植物探求等を仲間と楽しんでいます。３歳年下のカミさんも後期高齢者となり、お互いに心身にガタが来ました。あと何年生きられるであろうか？神様の思し召しと思い、動けるうちは、今まで通り働きます。ただ確実に車の運転の様に下手になっています。なるべくなら自分の判断で免許返上や止めることが、出来る様にと思います。

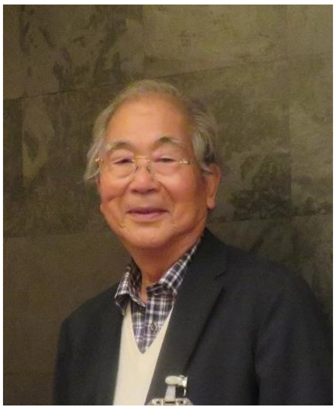
樋口　和子　様（文化 A）

鯱城学園では、こんな事でいいのかしらと思うくらい、はしゃぎすぎた 2 年間でした。そのお礼の意味で、２年間地域のお役に立ちましょうと、いうのが当時の意識でした。

同期で花水木に入会したのは 31 名でした。協力体制が欲しくて、花水木 26 期会を立ち上げ、大畠さんを中心に、数年間交流の機会を持っていました。今の役員さんが人集めに苦労していのを見て、時代の差を感じています。

同期に限らず、地域の中で顔見知りも増え、挨拶も思わず大きな声で笑顔になります。地域会は人と人とを繋ぐイベント、いごこちのいい場所を作ってくれました。いま動けるから、ボランティアに行きましょう。今歩けるから、喫茶店でお茶しましょう。そんな風にこれからも地域の中で生きていきます。

小出　博淳　様（陶芸）



鯱城学園では陶芸を専攻していました。卒業後、花水木に入会しましたが、その前から長く続けているのが「サンドブラスト」です。「サンドブラスト」とは、ガラスのグラス、コップなどに、文字通りサンド＝金剛砂をブラスト＝吹きつけて研磨していくガラス工芸です。経験と技術が必要ですが、とても美しい作品を作ることが出来ます。

自宅に機械を据え付けて、教室も開いていますので、興味のある方はおいでください。

大畠　啓三　様（地域）

「花水木だより」100 号おめでとうございます。26 期が担当していた頃は、社協で印刷・製本。広報委員長の山田さんの号令のもと、役員総出でやっていました。

亡き桐山さん達とデイサービスボランティア、コーヒーサロン、堀川清掃等々、教養（今日、用）があった頃を懐かしく思い出します。現在は体調に不安があり、地域活動もご無礼している日々です。

10 年継続会員の方　名簿　（令和 5 年 4 月現在）

今回掲載出来なかった方も含めて、お名前をお知らせいたします

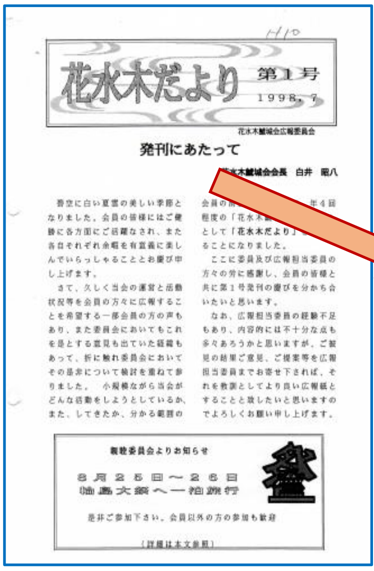
お名前	専攻	地域
山田　秋男	陶芸	今池
小出　博淳	陶芸	振甫
村田　喜与志	地域	若水
波良　雅司	美術	若水
中村　亨	生活 A	若水
北村　和彦	環境	城山
尾崎　達男	文化 A	千種台
安田　正雄	美術	千種
樋口　和子	文化 A	千種
大畠　啓三	地域	千種

広報誌“花水木だより”の歩み

元広報委員長
大村　悦郎（30 期　生活Ａ）

“花水木だより”と命名。年４回発行決定

平成 10 年（1998）7 月創刊号（全 6 頁）



花水木だより　第１号　1998.7

花水木鯱城会広報委員会

発刊にあたって

花水木鯱城会会長　白井　昭八

青空に白い夏雲の美しい季節となりました。会員の皆様にはご健勝に各方面にご活躍なされ、また各自それぞれ余暇を有意義に楽しんでいらっしゃることとお慶び申し上げます。

さて、久しく当会の運営と活動状況等を会員の方々に広報することを希望する一部会員の方の声もあり、また委員会においてもこれを是とする意見も出ていた経緯もあって、折に触れ委員会においてその是非について検討を重ねて参りました。　小規模ながら当会がどんな活動をしようとしているか、また、してきたか、分かる範囲の会員の［…］年４回程度の「花水木［…］として「花水木だより」［…］ることになりました。

ここに委員及び広報担当委員の方々の労に感謝し、会員の皆様と共に第１号発刊の慶びを分かち合いたいと思います。

なお、広報担当委員の経験不足もあり、内容的には不十分な点も多々あろうかと思いますが、ご被見の結果ご意見、ご提案等を広報担当委員までお寄せ下されば、それを教訓としてより良い広報紙とすることと致したいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

親睦委員会よりお知らせ

８月２５日～２６日
篠島大銀へ一泊旅行

是非ご参加下さい。会員以外の方の参加も歓迎

（詳細は本文参照）

花水木鯱城会発足（平成 3 年（1991）4 月）から 7 年目。
区会運営は会長、副会長 3 名、運営委員 23 名
（会員数 148 名、全区会中 4 位）

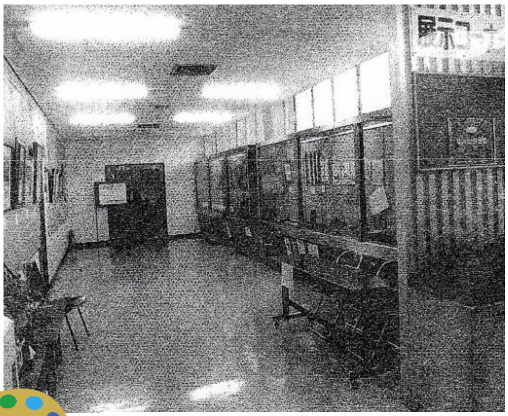
発刊にあたって　<u>花水木鯱城会会長　白井昭八氏（7 期）のことば</u>

「久しく当会の運営と活動状況等を会員の方々に広報することを希望する一部会員の方の声もあり、また委員会においてもこれを是とする意見も出ていた経緯もあって、折に触れ委員会においてその是非について検討を重ねてまいりました。小規模ながら当会がどんな活動をしようとしているか、またしてきたか、分かる範囲の会員の消息等を掲載して、年 4 回程度の「花水木鯱城会の広報誌」として、花水木だよりを発行することになりました。」

「趣味の作品展」第 1 回開催　誌上紹介

平成 17 年（2005）2 月 27 号（全 6 頁）

第 1 回開催は千種図書館にて。出展作品は 62 点。
（2 回目以後は、黒川ふれあいギャラリー、5 回目から愛知芸術文化センター）



第 1 回趣味の作品展
千種図書館にて

誌面が B5 版から A4 版へ拡大

平成 17 年（2005）5 月 28 号（全 6 頁）

表紙タイトル枠のカラー化

平成 17 年（2005）11 月 30 号（全 8 頁へ）

花水木だより　第30号記念特集号

30 号記念特集号　特別投稿 4 名。会員数 200 名超。
社会奉仕活動が活発化＝デイサービス支援、公園愛護活動、高齢者向けボランティア（高齢者疑似体験学習、電話訪問の試行開始など）

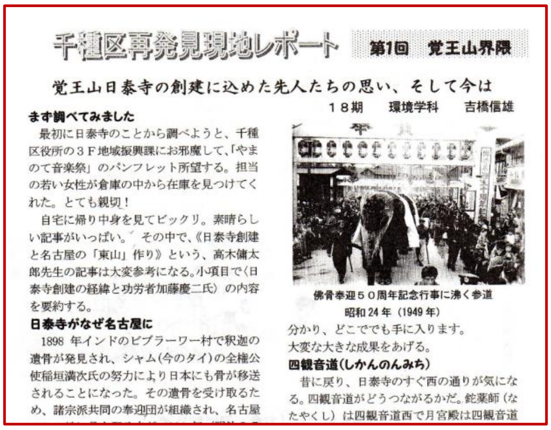
<u>同好会の立上げ</u>

ウォーキング、カラオケ、社交ダンス発足。翌年にはパソコン同好会発足。

千種区再発見現地レポートコーナー連載開始

平成 24 年 2 月 55 号
「相応寺」山門

平成 18 年（2006）8 月 33 号第 1 回「覚王山界隈」から平成 24 年 8 月 57 号「なごや東山の森づくり」まで延べ 18 回連載。



千種区再発見現地レポート　第1回　覚王山界隈

覚王山日泰寺の創建に込めた先人たちの思い、そして今は

１８期　環境学科　吉橋信雄

まず調べてみました

最初に日泰寺のことから調べようと、千種区役所の３Ｆ地域振興課にお邪魔して、「やまのて音楽祭」のパンフレット所望する。担当の若い女性が倉庫の中から在庫を見つけてくれた。とても親切！

自宅に帰り中身を見てビックリ。素晴らしい記事がいっぱい。その中で、《日泰寺創建と名古屋の「東山」作り》という、高木傭太郎先生の記事は大変参考になる。小項目で〈日泰寺創建の経緯と功労者加藤慶二氏〉の内容を要約する。

日泰寺がなぜ名古屋に

1898 年インドのピプラーワー村で釈迦の遺骨が発見され、シャム(今のタイ)の全権公使稲垣満次氏の努力により日本にも骨が移送されることになった。その遺骨を受け取るため、諸宗派共同の奉迎団が組織され、名古屋

佛骨奉迎５０周年記念行事に沸く参道
昭和 24 年（1949 年）

分かり、どこででも手に入ります。
大変な大きな成果をあげる。

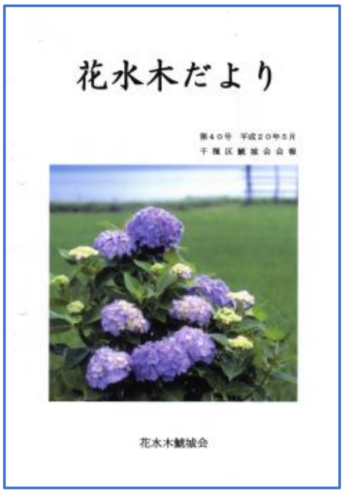
四観音道(しかんのんみち)

昔に戻り、日泰寺のすぐ西の通りが気になる。四観音道がどうつながるかだ。鉈薬師（なたやくし）は四観音道西で月宮殿は四観音道

第 1 回「覚王山界隈」　吉橋信雄氏（18 期）寄稿

表紙の大判カラー化

平成 20 年（2008）5 月 40 号（全 12 頁）　　会員数 260 名。（H20. 6. 30　273 名）



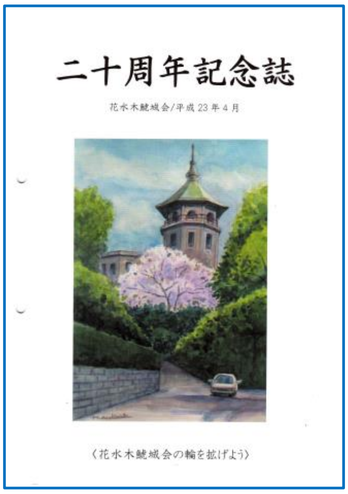
表紙写真　区の花アジサイ
故佐々木壽美子氏（20 期）

本号から、年度ごとに決算・予算、事業計画等掲載。表紙は「千種区鯱城会会報／花水木鯱城会」と明記。
表紙「花水木鯱城会の輪を拡げよう」は、次号 8 月の 41 号から現在まで継続。

平成 24 年 10 月　58 号封入風景

創立 20 周年記念誌発行

平成 23 年（2011）4 月（全 34 頁）



記念式典ご来賓は千種区長、社協事務局長、鯱城学園代表
記念行事実行委員会委員長：故塚原義政氏（21 期）
この年 3 月 11 日に東日本大震災があり、式典は粛々と開催。
記念誌には花水木鯱城会の歩み、歴代会長 9 名の寄稿、会員近況“今、わたし”と題して 3 期～23 期に亘る 132 名のひとこと掲載。（広報委員長　故宮原利昭氏（22 期）によると、全会員に葉書投稿を募集した）

←表紙水彩画「旧昭和塾堂」故新川光雄氏（22 期）

鯱城会ホームページに【掲示板】投稿開始・告知

平成 24 年（2012）5 月 56 号（全 16 頁）

https://kojyokai.net/
「区会だより」⇒「千種区」
⇒「掲示板」アクセス案内

「趣味の作品展」全作品カラー掲載

平成 27 年（2015）2 月 67 号（全 20 頁）

愛知芸術文化センターB2 にて、出展作品 82 点。（絵画 24、写真 20、書 6、陶芸 22、手芸 7、（在宅サービスセンター特別出展）

全頁カラー化・ネット印刷開始

平成 30 年（2018）8 月 81 号

表紙写真　「夏＝ひまわり」　渡邊孝子氏（22 期）

81 号から
インターネット
による発注と
入稿開始
（全 20 頁）

平成 31 年 4 月　84 号封入風景

創立 30 周年記念号発刊

令和 2 年（2020）8 月 89 号（全 28 頁）

新型コロナ感染防止のため、当年度予定した 30 周年記念式典及び総会・懇親会は中止。

記念号にて、二宮敏夫会長（30 期）の記念挨拶につづき千種区長、社協事務局長、鯱城学園代表のご祝辞掲載。“30 周年に寄せて”歴代会長 6 名の寄稿。“花水木鯱城会のあゆみ”―活動事始め―（3 頁）を掲載。

表紙写真は「感動！興奮！熱気！」　久連石一彦氏（24 期）⇒

広報委員長としての思い出　　　　　　　　　　　　**大村　悦郎（30 期　生活Ａ）**

花水木鯱城会に入会して 6 年、広報委員として“花水木だより”の発行を担当してきました。なかでも印象に残った事のひとつは、従来、費用面でカラー頁数が限られた誌面を、インターネット印刷による全頁カラー誌面に転換したことです。当時、名東鯱城会が他区に先駆けてネット印刷を採用しており、二宮前会長の紹介によって同会の広報委員長に参考意見を伺い、切り替えを行いました。これにより、カラーの頁数により費用が左右される事が無くなり、印刷作業・封入作業の手間も大いに省く事ができました。もうひとつは、年次総会と同時に予定した 30 周年記念行事に披露するスライドショーのスライドの制作と記念号の発行です。30 年の歴史をたどるために諸先輩の記録をお借りし、思い出をお聞きしながら、また、技術をＩＴ担当の古田氏に教わりながら、数か月、スライドの制作に励みました。それだけに、コロナ感染防止のため、総会・記念行事の中止が決まったときは大いに落胆しました。しかしながら記念号が発刊でき、後に小松会長や役員の方々によりスライドショーの披露の場を設けて頂きましたことには大いに感謝しています。いずれにしても、私にとっては新しい試みで良い経験となりました。

最後に、花水木だより 100 号を迎えるにあたりまして、本誌には、30 周年の際に集めました資料が大いに役立ち、「“花水木だより”の歩み」を掲載して頂きました。役員及びお世話になりました会員の皆様のご指導、ご支援にお礼申し上げます。

花水木だより 100 号への思い　　　　　**福田　由美子（28 期　福祉）**

鯱城学園卒業後、花水木鯱城会に入会し、広報委員となり広報委員長も務め、私の担当は何号からだったのかしら……なんて思い返しています。と同時に担当した 5 年間の状況が鮮明に懐かしく思い出されます。3 年目に広報委員長になり、総会で紹介された後、大先輩から声を掛けられました。創刊当時に委員長を務められた方でした。その頃は先輩との上下関係が厳しく、先輩の言葉は絶対でした。花水木だよりの表紙の言葉「花水木鯱城会の輪を拡げよう」を「今」に合う言葉に変えてもらっていいよ……そう語られましたが、創刊以来の、この言葉の響きは、ずっと続いている仲間の絆づくりに、花水木の拡がりに繋がっている大切な言葉だと信じています。　印象に残っているのは、「新入会員と会長との語らい」「10 年継続会員のお言葉」の記事作成、「千種土木事務所」の取材、「作品展」の紹介、等々、各号の割付表を作り、担当者を決定、原稿依頼と各自の責任ページを割り当て、その後原稿を持ち寄り読み合わせ、細かな指摘、時には厳しく知恵を出し合った楽しい時間でした。限られた予算で、カラー印刷は２～３ページでした。原稿が揃えば、千種社会福祉協議会のボランティアルームで印刷を行い、ページ確認をしながら、ホッチキス止めをして製本。多くの方の力を借りての手作業でした。

大切な「花水木だより」をお届けするため、宅配者リスト、宛名シールも作りました。私は宛名シールを貼るたびに、会員の方々のお名前も頭に入り、花水木会員全員のお顔が見える心持ちで、とても思い出深い作業でした。全ページカラー冊子となった「花水木だより」多くの方々の手を経てきた歴史の重みを感慨深く味わっています。

最近の社会奉仕活動から

社会奉仕委員長
樫澤一也（31期　生活B）

■マラソンフェスティバルナゴヤ･愛知にボランティア参加

3月12日、マラソンフェスティバルが開催され、花水木鯱城会から30名がボランティアとして参加いたしました。今年はゴール間際40㎞地点でのコース整理が担当でした。

一般のランナーにとってこの辺りは苦しさも限界です。完走記念のティファニーは魅力ですが、それだけでここまで走り切れるとは到底思えません。体形も年齢も、ランニング・フォームも100人100様の彼女たちが共通に持っているのは“挑戦するこころ・達成する喜び”で、それが原動力になっているように思えます。私たちも彼女らに倣い、いつまでもこの“こころと喜び”を持ち続け、様々な形のティファニーを手に入れたいものです。

今回の活動エリアには往路側、つまり午前中にランナーが通り過ぎてしまった南行きコースの整理も含まれているため、こちらにもメンバーを配置しなくてはいけません。ランナーどころか猫の子一匹通らない道路を長時間にわたって、座ることもままならず監視し続けるのは、いくらボランティアとは言え、勘弁してよと言いたいところです。心ならずも数名のメンバーにこの任務についてもらいましたが、よく頑張ってくださいました。

途中、パラパラと小雨が有り気温が急に下がりましたが、特に体調不良のメンバーもなく、無事活動を完遂できたのは何よりでした。ご協力ありがとうございます。

追伸
生まれて初めて白バイ隊員さんと言葉を交わしました。ヘルメットからポニーテールをのぞかせた若い女性隊員の方でした。
エンジンはどれくらい？　「1300 ccです」ぎょ！私の軽の2つぶんです。
バイク重くて大変でしょ？　「350 kgくらいあります」ぎょ！私の軽の3分の1です。「倒すと大変なので、気を付けています。オホホホ… 」
こんな白バイに追いかけられて逃げ切れるはずがありません。ゆめゆめ交通違反をしないよう気を付けましょう。

■大和小学校で正月遊びを伝授

1月27日、今年も大和小学校授業の一環として、「コマ回し」「お手玉」などの昔遊びを紹介し、1年生と一緒に体験するボランティアの依頼が有りました。

5種目の遊びを40分ぐらいで理解するというハードスケジュールですから、子どもたちも大変です。各遊び10分ほどのレッスンでは奥義をマスターできるはずもなく、多くの子供は、何が何だかわからないうちに終わってしまったようです。昔の人はこんな訳のわからんもので遊んでいたのか? と思ったことでしょう。

それでも、先生（我々のこと）一人一人に宛てて、上の写真の様なお礼の言葉集をプレゼントしてくれました。「教えてくれてありがとうございます」などとコメントをもらうと、もっと上手に教えられたら良かったのに、と今年も反省しきりです。

■「じどうかんまつり」のお手伝い

3月5日、千種児童館で「じどうかんまつり」というイベントが行われ、当会からは13人のメンバーにてボランティア活動を行いました。

午前と午後に来場者を分け、私達は午前10時開場から午後2時30分終了まで、たっぷりご奉仕する事となりました。幼児から小学生が中心のゲーム中心のお祭りで、受付でスタンプラリーの台紙を貰って好きな箇所で遊び、ゲームが終われば、受付にて「駄菓子券」を貰えるという楽しみ一杯のお祭りで、どの児童も元気一杯の将来日本を背負う子供たちと思うと、ついボラ活動に力が入りました。

今回私たちのブース担当は、「輪投げ」「ヨーヨーつり」「ストラックアウト(ボールを的にぶつけ落とすゲーム)」「ミサンガとお話」「総合受付」と「ゲーム受付」以上6か所での活動でした。本当に楽しい楽しい1日であったと思います。　（記：脇所耐）

■ご近所クリーンキャンペーン実施

左:社協周辺では
小雪がハラリと

上:富士見台会館周辺

令和４年度は千種区社協周辺の清掃（1 月 24 日）と富士見台会館周りの清掃（2 月 7 日）をそれぞれ 1 回ずつ行いました。

社協周辺は開始時間が遅くなったことに加え、早々に雪がちらつき始めたため、遺憾ながら不十分に終わりました。

一方、富士見台会館周辺は、役員・運営委員総出で作業に当たり、用意したゴミ袋が無くなったため強制終了という前代未聞の結末を迎えました。

令和５年度はスケジュールを前倒しにして、雪の中を強行するなどということの無いよう、余裕ある計画を立てようと思っています。

「花水木だより」とのお付き合い　　　　　樫澤　一也（31 期　生活 B）

在学中、地域ミーティングなどで、「花水木だより」を手にする機会がありました。コピー用紙をホッチキスで綴じただけの「花水木だより」にはあまり魅力を感じる事はなく、あっさり読み捨てていました。

広報委員会に入り、先輩委員が「花水木だより」の発行にプライドを持って取り組んでいる様子を見たとき、簡単には捨てられない「花水木だより」を作ろうと強く思いました。そのためには、内容はもとより、写真の質、罫線や飾り枠の適切な使用、バランスの良いレイアウトなど、目に心地よい体裁が必要と考え、その具体化を目標にしました。大村元委員長が外注印刷を決断されて以来、紙質も刷り上がり品質も向上し、ようやく私の望んでいたレベルになってきたように思います。

後輩の委員には、さらに魅力のある「花水木だより」を目指して頂きたいと思います。

お知らせ　　**訃　報**

令和４年度　5 名の方がご逝去されました。
謹んで、お悔やみ申し上げます。

新川　光男　様　（22 期　陶芸）
宮原　利昭　様　（22 期　文化 B）
中野　耕吉　様　（21 期　環境）
廣渡　保子　様　（30 期　生活 A）
塚原　義政　様　（21 期　生活 A）

編集後記

「花水木だより」は、今回 100 号を発行することが出来ました。多くの先輩方の並々ならぬご苦労のお陰と深く感謝申し上げます。この歴史をお伝えしようと、特集記事を掲載しました。記事への投稿ご協力、誠にありがとうございました。

広報委員長　大澤　之夫（32 期陶芸）
副広報委員長　桑原　守（32 期地域 A）

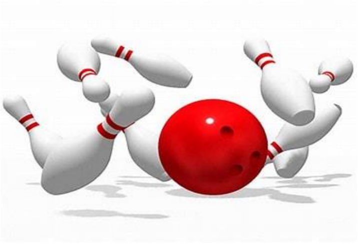
今後の行事予定

■全市一斉クリーンキャンペーン

期　日　　令和５年　６月３日（土）

■鶴舞公園クリーンキャンペーン

期　日　　令和５年　６月 17 日（土）　　予備日 ６月 24 日（土）



■花水木地域会交歓ボウリング大会

期　日　　令和５年　７月 10 日（月）
場　所　　星が丘ボウル

■趣味の作品展

期　日　　令和５年　10 月 11 日（水）～15 日（日）
場　所　　愛知芸術文化センター12 階スペースＨ

■第 22 回　鯱城会グラウンド・ゴルフ交歓会

期　日　　令和５年　10 月 18 日（水）
場　所　　庄内緑地公園

次号予告「花水木だより 101 号」
封入日　　令和５年７月 28 日（金）
発行日　　令和５年８月１日（火）

花水木だより第 100 号

発　行　　花水木鯱城会
　　　　　名古屋市高年大学　鯱城学園
発行日　　令和５年５月２日（火）
発行人　　会　長　　　小松　憲次
編集人　　広報委員長　大澤　之夫